5月の園だより

つくばさくら保育園
令和４年５月１日

　緑の若葉がまぶしい季節になりました。入園・進級から１カ月経ち、園生活にも慣れてきた子どもたちは、担任や新しい友だちとのふれあいが増えてきました。保育園では、散歩や戸外遊びを通して身体を思いっきり動かし、爽やかな季節を感じていきたいと思います。

５月の予定

2日（月）	リトミック（3・4歳）中止 竹の子掘り　さくら組
10日（火）	えいごであそぼう(5歳)
12日（木）	避難訓練
13日（金）	運動教室（5歳）
16日（月）	リトミック（3・4歳）
17日（火）	えいごであそぼう（4歳）
20日（金）	防犯訓練
23日（月）	身体測定
24日（火）	えいごであそぼう(5歳)
26日（木）	誕生会（園児中心でお祝い）
27日（金）	運動教室（5歳）
31日（火）	えいごであそぼう（4歳）

６月の予定

9日（木）	尿検査
15日（水）	健康診断
16日（木）	歯科検診
30日（木）	健康診断

早朝、2階の窓から見える道路には人の姿はない、やがて若い男性が、生まれたばかりと思われる赤ちゃんを大切に、大切に抱っこして、静かに子守唄を歌いながら歩いてきた。
　その姿はとっても幸せそうだった。出勤前のひと時、赤ちゃんと散歩しているのだろうか？・・・・・私は再びベットに横になって我が家の子育て時代を懐かしく思い出した。

親子の絆

子どもって？

　この世に生を受けた子どもは、家庭という集団の中で、深い愛情に包まれながら、基本的な生活習慣・行動能力・知的な基礎能力等を身に付け、一人の豊かな人間として社会で生きていけるように成長していきます。

親って？

　親は子供にとって一番身近にいて、子どもの幸福と健康を守ってくれる人です。
　子育ては、決して楽なものではありません。始めから、親として生まれる人間はおらず、人は子をもって親になるのです。ですから、始めは親として未熟であっても当然なのです。大事なことをしっかりとおさえ、多少なことには動じない余裕を持つことが大切です。
　　【家庭教育ブック（茨城県教育委員会）ひよこ】より

　我が家の子どもたちも親を乗り越えて、それぞれの分野で頑張っている。　　園長　黒木喜久子

お知らせ

- 尿検査・健康診断・歯科検診については後日お知らせします。
- 気温の高い日が増えてきました。半袖や半ズボンの用意をお願いします。
  （汚れてもよい服装で登園して下さい）
- 水筒は忘れずに持たせ、多めに水やお茶を入れて下さい。（スポーツドリンクやジュース類は不可）

クラスだより

たんぽぽ

不安いっぱいでスタートした子どもたち。初日は泣いているが多かったですが、だんだん慣れて笑顔を見せてくれるようになりました！天気が良い日には園庭に出てお散歩をしたり、芝生のうえで遊ぶことを楽しんでいます。

もも

少しずつ暖かくなってきましたね。穏やかな気持ちのいい季節となり、外遊びでは少し汗ばむ姿が見られます。保育園での生活に慣れてきたのか、時々笑顔をこぼしてくれる子どもたちです。外遊びでは、お花を見つけて先生に「どうぞ！」と持って来てくれます。

ちゅうりっぷ

子ども達にとって初めてのこと、新しいことがたくさんあった４月。不安な表情もみられましたが、最近ではにぎやかな笑い声が増えてきました。絵本が好きで「絵本読むよ！」と声かけすると「もこもこもこ」「だるまさんが」等読んでほしい絵本をアピールし、読み終わると「もう１回」と伝えてくれるちゅうりっぷ組さんです。これからもたくさんの好きなことを園生活の中で見つけて楽しく笑顔で過ごしていきたいと思います。

ゆり

ついに始まったゆり組では、初めてのことが盛りだくさんでした。リトミック、月刊誌、イースターの制作を夢中になり楽しんで取り組んでいた子どもたちです。少しづつ園生活に慣れてきましたが、まだ初めてのことばかりで戸惑いも多いですが保育者や友だちと楽しんで行えるようにしていきたいと思います！

ひまわり

先月は、休園等で子どもたちと遊ぶ時間が少なかったので、今月はたくさんお外に行き遊びたいと思います。給食では、自分で《食べられる量》を決め、完食を目指しています。自分で決めることで、完食するお友だちが増えてきていますよ！

さくら

「今日はなにやるの！？」と１日の予定に期待をもったり、チームでの活動に積極的に参加したりと、子どもたち自身が生活を充実させようとしています。５月も年長児ならではの活動をたくさん取り入れ、みんなで楽しさを共有していきたいと思います。

今月のうた

♪ こいのぼり
♪ ことりのうた
♪ ぶんぶんぶん

健康チェックをお願いします！

　元気に園生活を送れるように、登園前の健康チェックをお願いします。検温する、着替えのときに全身を見る、睡眠や食欲を確認するなどして「おかしいな？」と気付いたことがあれば、何でも職員にお伝え下さい。ちょっとした質問や情報でも体調の変化に気付く、大切な手掛かりになります。